



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月25日

上場会社名 シャープ株式会社 上場取引所 東証一部・大証一部・名証一部・福証・札証
 コード番号 6753 URL <http://www.sharp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 片山 幹雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 大西 徹夫 TEL (06) 6621-1221

(百万円未満四捨五入)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第1四半期	796,010 14.7	42,255 4.5	37,982 6.2	24,217 1.4
19年3月期第1四半期	693,720 12.6	40,430 13.7	40,511 26.0	23,892 23.1
19年3月期	3,127,771 —	186,531 —	170,584 —	101,717 —

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	22 20	20 71
19年3月期第1四半期	21 90	—
19年3月期	93 25	90 00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	3,063,400	1,213,335	39.3	1,103 83
19年3月期第1四半期	2,623,354	1,114,762	42.2	1,014 10
19年3月期	2,968,810	1,192,205	39.9	1,084 76

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	51,209	35,035	31,964	316,200
19年3月期第1四半期	25,294	15,906	12,396	298,759
19年3月期	314,352	328,789	41,170	329,286

2．配当の状況

	1株当たり配当金
（基準日）	第1四半期末
	円 銭
19年3月期第1四半期	—
20年3月期第1四半期	—

3．平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）【参考】

現時点では、前期決算発表時(平成19年4月25日)に公表いたしました当期業績予想の修正はありません。

4．その他

- （1）期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 無
- （2）会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- （3）最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、【定性的情報・財務諸表等】3．その他をご覧ください。]

その他特記事項

発表数値につきましては、監査法人による会計監査は受けておりません。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績及び連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景に設備投資が増加し、個人消費も持ち直しの動きを見せるなど、民間需要を中心に着実な回復が進みました。また、海外においては、米国の景気が底堅く推移し、欧州やアジア各国の経済も総じて成長が続きました。

こうした中、当社グループでは、フルハイビジョン液晶カラーテレビやワンセグ対応携帯電話など特長商品の拡充と、これらを支える独自デバイスの事業拡大に取り組みました。

連結業績については、売上高が前年同期比14.7%増の7,960億円、営業利益は4.5%増の422億円、経常利益は6.2%減の379億円、四半期純利益は1.4%増の242億円となりました。

キャッシュ・フローの状況については、営業活動による資金の増加は512億円、投資活動による資金の減少は350億円、財務活動の結果使用した資金は319億円となり、その結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ130億円減少し、3,162億円となりました。

各部門別の状況は、概ね次のとおりです。

エレクトロニクス機器

A V・通信機器部門では、大型の液晶カラーテレビが伸長すると共に、携帯電話も好調に推移し、売上高は、前年同期比37.6%増の4,080億円となりました。

電化機器部門では、エアコンや冷蔵庫が堅調な伸びを示し、売上高は、前年同期比11.4%増の643億円となりました。

情報機器部門では、デジタルフルカラー複合機を中心に複写機・複合機が伸長し、売上高は、前年同期比4.2%増の1,024億円となりました。

電子部品等

L S I部門では、C C D・C M O S イメージャなどの主要デバイスが伸長し、売上高は、前年同期比11.8%増の370億円となりました。

液晶部門では、外部顧客に対する売上高は、前年同期比12.3%減の1,193億円となりましたが、液晶カラーテレビ用を中心に社内向けが伸長し、内部売上高を含めた売上高は増加しております。

その他電子部品等部門では、デジタル機器用の電子部品は堅調に推移しましたが、太陽電池の販売減により、売上高は、前年同期比9.8%減の648億円となりました。

2. 通期の連結業績見通し

現時点における平成20年3月期の通期業績見通しは、下記のとおりであり、前期決算発表時（平成19年4月25日）に公表いたしました業績予想の修正はありません。

売 上 高	3兆4,000億円	（前年度比 108.7%）
営 業 利 益	1,900億円	（前年度比 101.9%）
経 常 利 益	1,750億円	（前年度比 102.6%）
当 期 純 利 益	1,050億円	（前年度比 103.2%）

上記の業績見通しは、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- ・ 当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢の著しい変化
- ・ 製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- ・ 為替相場の変動（特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場）
- ・ 製品やサービスについての急速な技術革新
- ・ 諸外国における貿易規制等の各種規制 など

３．その他

（１）期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

（２）会計処理の方法における簡便な方法の採用

棚卸資産の評価方法等について一部簡便な方法を採用しております。

（３）最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

連 結 貸 借 対 照 表

科 目	前 期 (平成19年3月31日現在)	当 第 1 四 半 期 (平成19年6月30日現在)	増 減 金 額
(資 産 の 部)	百万円	百万円	百万円
流 動 資 産	1,679,263	1,674,437	4,826
現 金 及 び 預 金	424,151	361,502	62,649
受取手形及び売掛金	595,667	560,352	35,315
た な 卸 資 産	435,643	525,386	89,743
そ の 他	223,802	227,197	3,395
固 定 資 産	1,284,682	1,384,285	99,603
有 形 固 定 資 産	1,013,527	1,099,233	85,706
無 形 固 定 資 産	60,736	67,908	7,172
投資その他の資産	210,419	217,144	6,725
繰 延 資 産	4,865	4,678	187
社 債 発 行 費	4,865	4,678	187
資 産 合 計	2,968,810	3,063,400	94,590
(負 債 の 部)			
流 動 負 債	1,392,265	1,488,353	96,088
支払手形及び買掛金	751,274	778,994	27,720
短 期 借 入 金	147,353	171,680	24,327
そ の 他	493,638	537,679	44,041
固 定 負 債	384,340	361,712	22,628
社 債	57,333	54,869	2,464
新株予約権付社債	204,643	204,463	180
長 期 借 入 金	77,818	60,071	17,747
そ の 他	44,546	42,309	2,237
負 債 合 計	1,776,605	1,850,065	73,460
(純資産の部)			
株 主 資 本	1,185,336	1,192,759	7,423
資 本 金	204,676	204,676	0
資 本 剰 余 金	262,295	262,296	1
利 益 剰 余 金	745,209	752,736	7,527
自 己 株 式	26,844	26,949	105
評価・換算差額等	2,209	11,116	13,325
その他有価証券評価差額金	24,381	27,884	3,503
繰延ヘッジ損益	1	1,288	1,289
為替換算調整勘定	26,591	15,480	11,111
少数株主持分	9,078	9,460	382
純 資 産 合 計	1,192,205	1,213,335	21,130
負 債 純 資 産 合 計	2,968,810	3,063,400	94,590

連 結 損 益 計 算 書

科 目	前 年 第 1 四 半 期 (平成18年4月1日 ～ 平成18年6月30日)		当 第 1 四 半 期 (平成19年4月1日 ～ 平成19年6月30日)		前年同期比	
	増 減 金 額	比 率	増 減 金 額	比 率	増 減 金 額	比 率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売 上 高	693,720	100.0	796,010	100.0	102,290	114.7
売 上 原 価	530,897	76.5	615,168	77.3	84,271	115.9
売 上 総 利 益	162,823	23.5	180,842	22.7	18,019	111.1
販売費及び一般管理費	122,393	17.7	138,587	17.4	16,194	113.2
営 業 利 益	40,430	5.8	42,255	5.3	1,825	104.5
営 業 外 収 益	12,453	1.8	7,009	0.9	5,444	56.3
営 業 外 費 用	12,372	1.8	11,282	1.4	1,090	91.2
経 常 利 益	40,511	5.8	37,982	4.8	2,529	93.8
特 別 利 益	28	0.0	23	0.0	5	82.1
特 別 損 失	1,081	0.1	550	0.1	531	50.9
税 金 等 調 整 前 利 益	39,458	5.7	37,455	4.7	2,003	94.9
法 人 税 等	15,489	2.3	13,166	1.7	2,323	85.0
少 数 株 主 利 益	77	0.0	72	0.0	5	93.5
四 半 期 純 利 益	23,892	3.4	24,217	3.0	325	101.4

- (注) 1. 前年第1四半期まで「営業外収益」及び「営業外費用」にそれぞれ含めて計上していた特許料・技術指導料等収入及び特許料・技術指導料等収入見合費用は、前年中間期より、「売上高」及び「売上原価」にそれぞれ含めて計上することに変更しております。なお、変更後の方法によった場合、前年第1四半期の売上高は4,327百万円、売上原価は1,525百万円、営業利益は2,802百万円それぞれ増加しますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。
2. 当第1四半期より、平成19年度の法人税法の改正に伴い、減価償却の方法等を変更しております。この結果、従来の方によった場合に比べて当第1四半期の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ2,442百万円減少しております。

連 結 キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー 計 算 書

科 目	前年第1四半期 (平成18年4月1日 ～平成18年6月30日)	当 第 1 四 半 期 (平成19年4月1日 ～平成19年6月30日)	増 減 金 額
	百万円	百万円	百万円
.営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益	39,458	37,455	2,003
減価償却費	46,262	58,072	11,810
売上債権の減少額	15,336	50,258	34,922
たな卸資産の増加額	37,694	77,296	39,602
仕入債務の増加額	18,355	12,442	5,913
その他	56,423	29,722	26,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,294	51,209	25,915
.投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	55,310	81,792	26,482
その他	39,404	46,757	7,353
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,906	35,035	19,129
.財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額（又は純減少額）	6,522	11,486	18,008
長期借入れによる収入	3,000	3,082	82
長期借入金の返済による支出	4,028	922	3,106
社債の償還による支出	4,000	50,000	46,000
配当金の支払額	11,354	13,803	2,449
その他	2,536	41,165	43,701
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,396	31,964	19,568
.現金及び現金同等物に係る換算差額	291	1,103	1,394
.現金及び現金同等物の減少額	3,299	14,687	11,388
.現金及び現金同等物の期首残高	299,466	329,286	29,820
.新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,583	1,439	1,144
.合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	9	162	153
.現金及び現金同等物の期末残高	298,759	316,200	17,441

事業の種類別セグメント情報

	前 年 第 1 四 半 期 (平成18年4月1日～平成18年6月30日)				
	Ｉｌｋｌｒｌｋ機器	電子部品等	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売 上 高					
(1)外 部 顧 客 に 対 す る 売 上 高	452,631	241,089	693,720	-	693,720
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,189	114,142	117,331	(117,331)	-
計	455,820	355,231	811,051	(117,331)	693,720
営 業 費 用	439,521	330,975	770,496	(117,206)	653,290
営 業 利 益	16,299	24,256	40,555	(125)	40,430

	当 第 1 四 半 期 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)				
	Ｉｌｋｌｒｌｋ機器	電子部品等	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売 上 高					
(1)外 部 顧 客 に 対 す る 売 上 高	574,772	221,238	796,010	-	796,010
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,002	157,780	159,782	(159,782)	-
計	576,774	379,018	955,792	(159,782)	796,010
営 業 費 用	556,177	357,795	913,972	(160,217)	753,755
営 業 利 益	20,597	21,223	41,820	435	42,255

(注) 1. 事業区分の方法は、製品の製造及び販売方法の共通性によっております。
 2. 前年第1四半期まで「営業外収益」及び「営業外費用」にそれぞれ含めて計上していた特許料・技術指導料等収入及び特許料・技術指導料等収入見合費用は、前年中間期より、「売上高」及び「売上原価」にそれぞれ含めて計上することに変更しております。なお、変更後の方法によった場合、前年第1四半期の「Ｉｌｋｌｒｌｋ機器」の売上高は780百万円、営業費用は1,018百万円それぞれ増加、営業利益は238百万円減少し、「電子部品等」の売上高は3,547百万円、営業費用は507百万円、営業利益は3,040百万円それぞれ増加します。

部 門 別 連 結 売 上 高 明 細 表

項 目		前年第 1 四半期 (平成18年4月1日 ～平成18年6月30日)	当 第 1 四 半 期 (平成19年4月1日 ～平成19年6月30日)	前年同期比	
				増 減 金 額	比 率
		百万円	百万円	百万円	%
	A V ・ 通 信 機 器	296,597 (42.7%)	408,047 (51.2%)	111,450	137.6
	電 化 機 器	57,755 (8.3%)	64,316 (8.1%)	6,561	111.4
	情 報 機 器	98,279 (14.2%)	102,409 (12.9%)	4,130	104.2
	エレクトロニクス機器	452,631 (65.2%)	574,772 (72.2%)	122,141	127.0
	L S I	33,123 (4.8%)	37,044 (4.7%)	3,921	111.8
	液 晶	136,093 (19.6%)	119,333 (15.0%)	16,760	87.7
	その他電子部品等	71,873 (10.4%)	64,861 (8.1%)	7,012	90.2
	電 子 部 品 等	241,089 (34.8%)	221,238 (27.8%)	19,851	91.8
	合 計	693,720 (100.0%)	796,010 (100.0%)	102,290	114.7
内 訳	国 内	354,167 (51.1%)	422,109 (53.0%)	67,942	119.2
	海 外	339,553 (48.9%)	373,901 (47.0%)	34,348	110.1

（注）記載金額は、外部顧客に対する売上高を表示しております。

(補足資料)

部門別情報

(部門別売上高は、セグメント(エレクトロニクス機器・電子部品等)間の内部売上高又は振替高を含んでおります。)

<売上高>

		前年第1四半期 (平成18年4月1日 ～平成18年6月30日)		当第1四半期 (平成19年4月1日 ～平成19年6月30日)		前年同期比
		金 額	構成比	金 額	構成比	
		百万円	%	百万円	%	%
	A V ・ 通 信 機 器	296,667	42.8	408,225	51.3	137.6
	電 化 機 器	57,762	8.3	64,327	8.1	111.4
	情 報 機 器	101,391	14.6	104,222	13.1	102.8
	エレクトロニクス機器	455,820	65.7	576,774	72.5	126.5
	L S I ※	46,306	6.7	49,333	6.2	106.5
	液 晶	231,717	33.4	254,928	32.0	110.0
	その他電子部品等	77,208	11.1	74,757	9.4	96.8
	電 子 部 品 等	355,231	51.2	379,018	47.6	106.7
	小 計	811,051	116.9	955,792	120.1	117.8
	消 去 又 は 全 社	117,331	16.9	159,782	20.1	-
	合 計	693,720	100.0	796,010	100.0	114.7

LSI部門の売上高には、液晶/その他電子部品等部門への内部売上高（液晶用LSI等：前年第1四半期 5,307百万円、当第1四半期 7,610百万円）を含んでおりません。

<営業利益>

		前年第1四半期 (平成18年4月1日 ～平成18年6月30日)		当第1四半期 (平成19年4月1日 ～平成19年6月30日)		前年同期比
		金 額	構成比	金 額	構成比	
		百万円	%	百万円	%	%
	A V ・ 通 信 機 器	9,576	23.7	12,722	30.1	132.9
	電 化 機 器	572	1.4	291	0.7	50.9
	情 報 機 器	6,151	15.2	7,584	17.9	123.3
	エレクトロニクス機器	16,299	40.3	20,597	48.7	126.4
	L S I	1,639	4.1	723	1.7	44.1
	液 晶	16,141	39.9	17,278	40.9	107.0
	その他電子部品等	6,476	16.0	3,222	7.6	49.8
	電 子 部 品 等	24,256	60.0	21,223	50.2	87.5
	小 計	40,555	100.3	41,820	98.9	103.1
	消 去 又 は 全 社	125	0.3	435	1.1	-
	合 計	40,430	100.0	42,255	100.0	104.5